

第3回そだつ部会会議録

日 時	2014年7月16日(水) 10:00~12:00
場 所	地域連携交流施設
出 席 者	林、高津、安川、内海、成松、近野、浅原、西山、日野、政本、長倉、山口、
テ ー マ	1、協議課題 2、その他 3、次回開催日の調整
内 容	<p>1、協議課題</p> <p>○「かけはし書き方教室」第1回6月17日開催 参加者：5名</p> <p>成松氏報告</p> <p>アンケート結果を踏まえて、今後の「支援をつなぐ」の題材を検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「かけはし」は支援をつなぐツールとして作られた(母子手帳でカバーしきれない) ・書いても活用出来る場がなければ、なかなか書き続けることが出来ない ・教育支援計画にコピーして提出しようと思っている ・支援してくれる先生が家と学校での違いをサポートブックで分かってもらえたので、成功体験が「かけはし」を書く動力になる ・その場限りのものではなく、地域で育っていくために、学校の姿・家の姿・外での姿の本人像をすり合わせて行く道具として「かけはし」を活用していく ・チームとして本人をサポートしていくために「かけはし」を活用し、皆が絡んでいく必要がある ・「かけはし」の活用の仕方を先生も分かっていないので、親から「ここを見てください」と啓発が必要ではないか ・親が支援の要になるのではなく、本人を中心に親も応援していく応援団の1人になり、年々応援団の人数を増やしていく事が必要。チームでサポートすることが大切ではないか ・つなぐ役割を誰がするのか。1人で支援者とコーディネーターの2役はできない ・個別支援会議で個々の問題を解決する ・「書き方教室」に人数を集めるにはどうするか ・「かけはし」の活用はどうするか ・乳健から「かけはし」を知らせることが重要ではないか ・子どものことを知るために研修等は熱心に聞きに来る。今はもう、「かけはし」を持っている状態ではないか ・HPにダウンロードが出来る状態にしたほうがいい ・聞きたい情報を聞ける場になれば、人は集まってくるのではないか ・年齢ごとに知りたい事は変わってくるので、どの年齢に合わせて講演をするかが問題 ・就学前の相談は、教育委員会でされていますか <ul style="list-style-type: none"> →ここ7~8年で相談をされるようになっていきます。 <p>加古川市では、特別支援の先生が幼・保育園を回っていると聞いて参考にした</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援学校・普通学校の違いが一番聞かれる質問である ・支援学級などに行っていない人は先生にも相談できず、悩みがたまっているのではないか ・具体的な「かけはし」の活用を紹介して、チームで支援するという事を話したらどうか ・喋っても堂々巡りだから、父母会に出ないという人もいます。お土産がほしい(すぐに動

けるヒント等がほしい)

- ・始まりが大事。スタートを決めたら、「かけはし」も書きやすいのではないかな
- ・一般的な性的話でなく、具体的な対処法や距離感について聞きたいという話があった
- ・障害者の文化を理解しながら、一緒に暮らすために必要なことを話せばいい
- ・親が「どうして～だろう？」という事を、なぜ解きしてみてもどうか
→部会のメンバーで答えたらどうか
- ・特別支援学校であれば、なぜ解きは担任の先生がする。通常学級の保護者はどうされているのだろう
- ・質問されても、子どもを見ていないので、聞いた中で一般的な話しかできない。
- ・詳しい話はせずとも、それぞれの支援者に相談に行くきっかけづくりになればいいのではないかな
- ・問題行動は幾つかの解釈が出来るので、個別の対応がスムーズだと考える
- ・普通学級の中でも、困っていて相談したいと思っている人はいる
- ・相談会を1週間行ったことがある 学校の先生が当番で、相談会に参加した
- ・普通学級に在籍している保護者は、子供に障害の事を話しておらず、「障害」と名の付くものに倦厭される
- ・担任の先生から、個別にお知らせや声掛けがあれば出席しやすい
- ・後押しがあればいいのではないかな
- ・ターゲットはどうするのか
- ・支援の引き出しはたくさんある方がいいので、ターゲットは絞らずに話していく

まとめ

困っている事を提出してもらい、「そだつ部会」の方々が、回答していく
困りのネタは、みなさんから出してもらおう→チラシに載せる

10月15日10:00~11:30 開催

困りネタ 8月8日締切

○放課後や余暇活動の支援について

「交通安全教室 in 東播自動車教習所」

- ・3~5名なら参加が可能
- ・8月18日(月)開催決定
- ・中学生チラシ配布予定

○「かけはし」改編作業

3か月・10ヶ月・1歳半・3才児健診の間診票の配布

- ・たんぽぽ教室や健診時で行政から声がけをしてもらってはどうか
→タイミングや全員が対象かどうか分からないので、声はかけづらい
- ・子育て支援センターに、サンプルなどをおいてみてはどうか
- ・健診の間診票を複写式などにしてもらって、母子手帳などに貼れないかな
→難しい

次回は就学前の間診票を確認予定

2、その他

○全体会：平成 26 年 8 月 1 日（金）10：45～12：15 播磨町役場ABC会議室

「播磨町はそだちやすい!?くらしやすい!?はたらきやすい!？」

～地域診断を踏まえ、私たちそれぞれができること～

講師：社会福祉法人 岩崎学園 理事長 松下直弘氏

○くらす部会：お泊り会「見学会」播磨町デイサービスセンター 4名参加

3回お泊り会を行う

○はたらく部会：平成 26 年 8 月 3 日（土）10：00～11：30

はたらくみんなのお茶会開催予定

3、次回開催日の調整

平成 26 年 10 月 1 日（水）10：00～12：00

場所：地域連携交流施設